

第4章 商業振興の戦略及び方針

第4章 商業振興の戦略及び方針

「目標」の実現に向けた考え方を、エリアの視点と担い手の視点から整理し、「戦略」として次のように設定する。

戦略①：地域商業の充実と都心商業の強化

戦略②：個店、商店街、まちの維持・成長促進

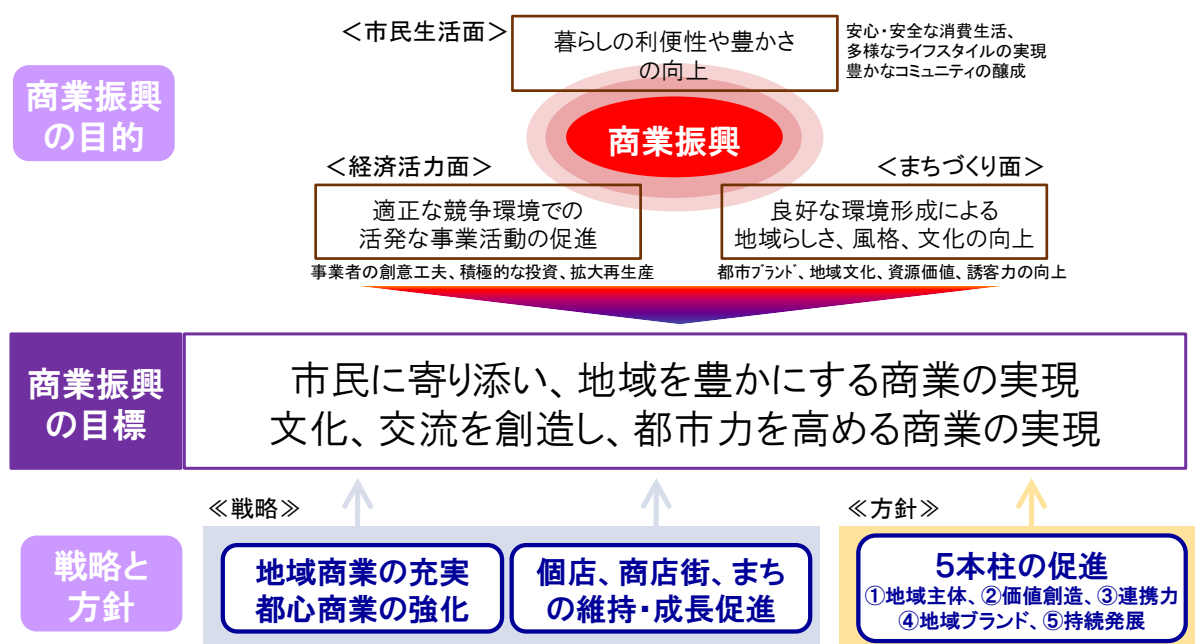
現状の商業環境の推移を踏まえると、個店、商店街、まちにとっては、新たな店舗業態、流通業態などによる競争が続き、本市の個性ある地域商業、都心商業の形成に向けて、厳しい商業環境が続くと推測される。現状の活力を維持しつつ、個性を磨き、質的成長の促進を進めていくことが必要である。

また、2つの戦略を進める上で、取組内容の視点から大事にすべきポイントを、「方針」として次のように設定する。（方針の内容については、次章で説明）

方針（取組内容の視点）

- ①地域主体による取組の促進
- ②価値を創造・向上させる取組の促進
- ③連携を活かした取組の促進
- ④地域ブランド・誇りを向上させる取組の促進
- ⑤持続発展に向けた取組の促進

図表一 目標実現に向けた戦略と方針（イメージ）



戦略①：地域商業の充実と都心商業の強化

- ・ 商業の立地するエリアとして、「地域」と「都心」の2つの視点から、それぞれの商業の役割を整理し、戦略の考え方を示す。

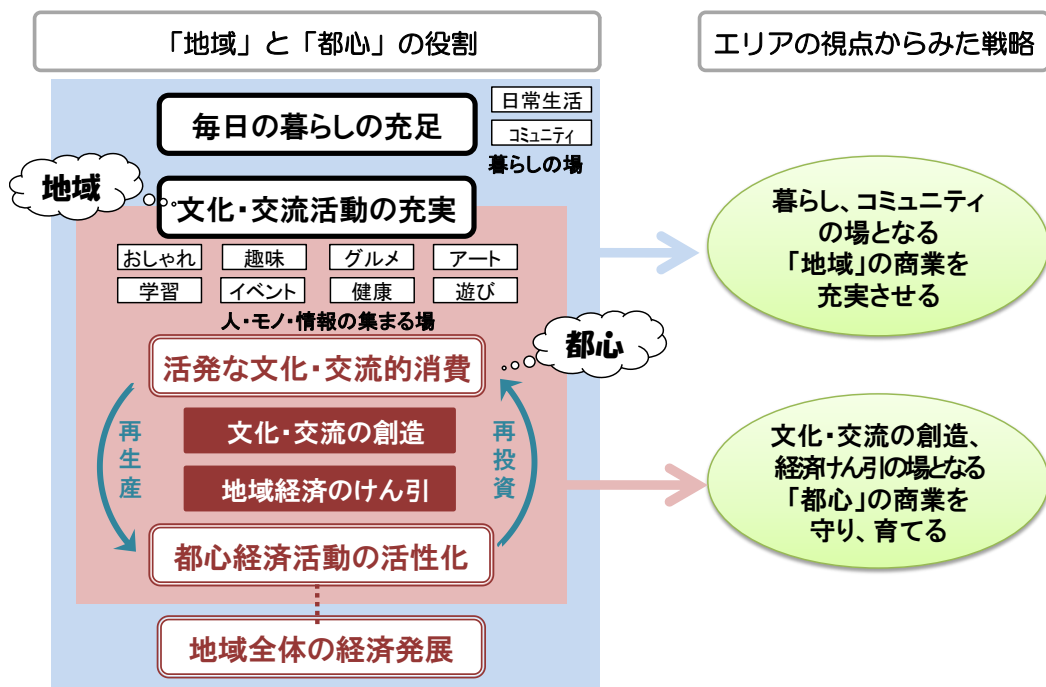
地域商業の充実

- 「市民に寄り添い、地域を豊かにする商業」の目標実現に向けて、暮らしやコミュニティの場となる「地域」における商業の充実により、安心して便利な消費生活の実現と、豊かなコミュニティや地域文化が醸成されることを目指す。

都心商業の強化

- 「文化・交流を創り出し、都市を輝かせる商業」の目標実現に向けて、都市全体の顔であり、様々な都市的活動のけん引の場となる「都心」における商業を守り、育てることにより、多様で質の高い消費ライフの実現と、それに伴う活発な文化・交流活動が創出されることを目指す。

図表－戦略①（エリアの視点）



戦略②：個店、商店街、まちの維持・成長促進

- ・商業活動やそれを通じた地域的活動の担い手となる「個店」、「商店街」、「まち」の3つの視点から、それぞれの役割を整理し、戦略の考え方を示す。

■個店の維持・成長促進

- 具体的な商業サービスを提供する「個店」は、本市商業の魅力の根幹となるものである。質の高い商業サービスを実践し、消費者に支持され、愛される「輝く個店」が数多く芽生え成長していくことを目指し、その促進を図る。

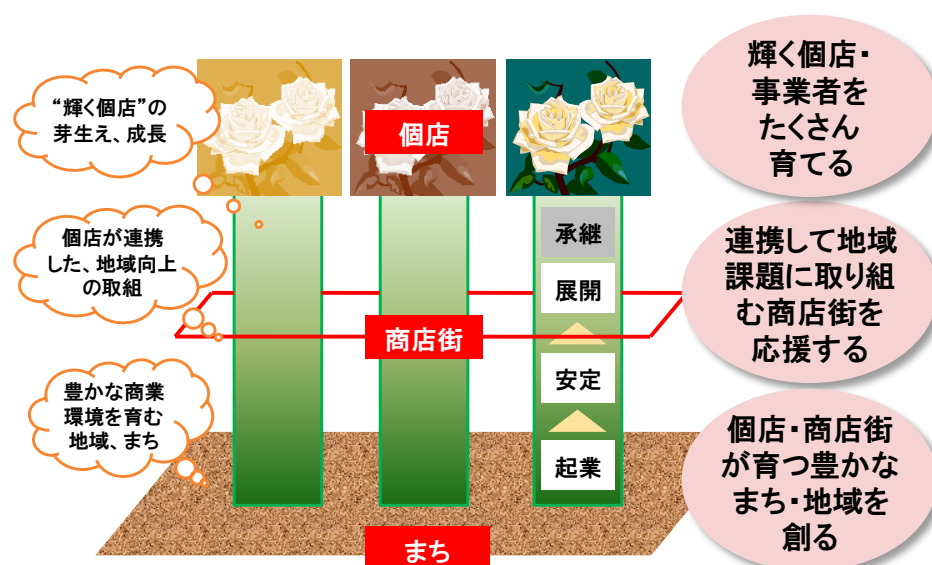
■商店街の維持・成長促進

- 「個店」の連携体である「商店街」は、その連携力を生かして、「個店」だけでは対応できない地域課題解決の重要な担い手となることが期待される。地域づくりに向けた取組を積極的に行う、地域に必要とされる商店街が成長していくことを目指し、その促進を図る。

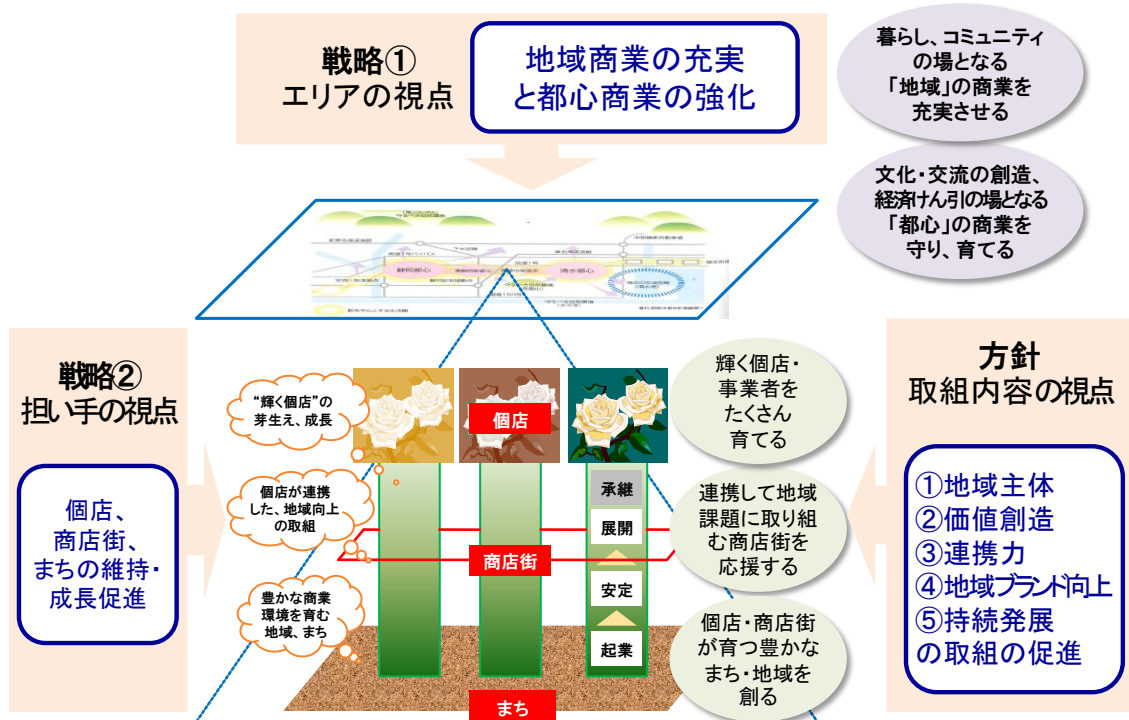
■まちの維持・成長促進

- 「まち」は、商業が育まれる土壌である。「輝く個店」が芽生え、成長し、「商店街」が生き生きと活躍する場となる豊かな「まち」が形成されていくことを目指し、その促進を図る。

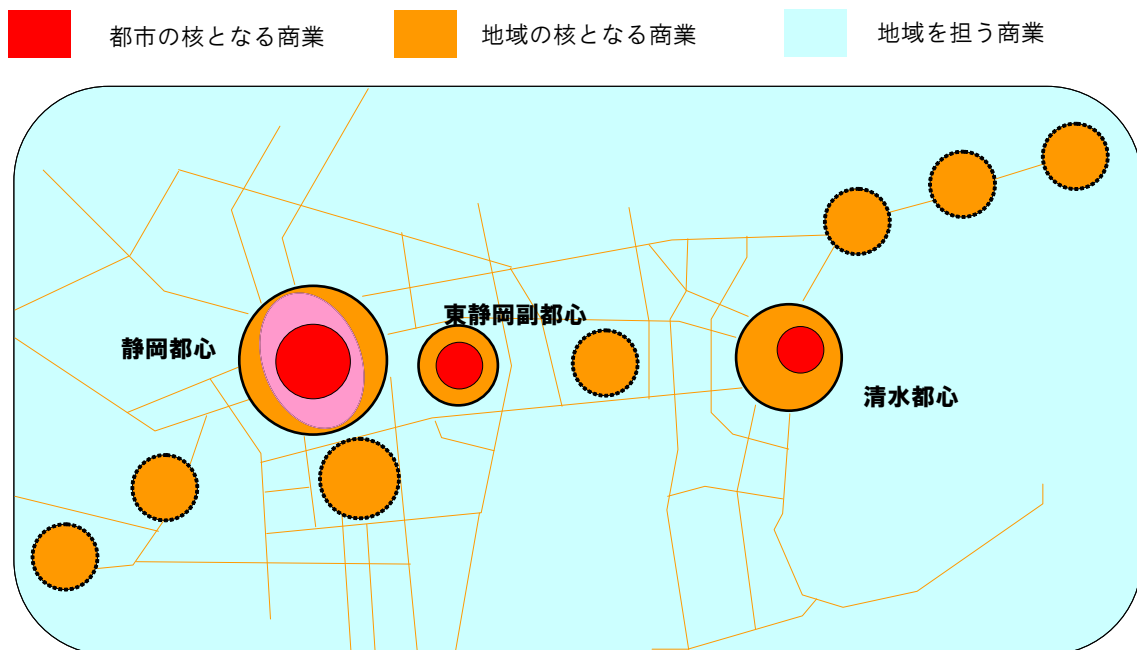
図表一戦略②（担い手の視点）



図表一戦略と方針のまとめ



図表一都心と地域の方針図



上位、関連計画等を踏まえ作成